

平成25年度 マザーレイク21計画関連事業の概要

区分名		区分内容	事業数	当初予算(千円)
琵琶湖流域生態系の保全・再生	湖内	良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様で豊かな在来生物群集の再生を目指す取組	16	106,102
	湖辺域	絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の減少、在来魚介類の再生産の回復と漁獲量の増加、湖岸景観の回復を目指す取組	36	7,014,176
	集水域	適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と在来生物の回復を目指す取組	42	27,153,174
	つながりへの配慮	湖内、湖辺域、集水域を行き来する在来生物の増加を目指す取組	4	4,886,360
		小計(重複含む)	98	39,159,812
暮らしと湖の関わりでの再生	個人・家庭	身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく人の増加を目指す取組	8	181,516
	なりわい	琵琶湖流域保全と調和した生業(なりわい)の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全、再生活動の活発化を目指す取組	9	81,471
	地域	地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取組の活発化を目指す取組	11	428,932
	つながりへの配慮	地域を越えた活動のための仕組みづくりと普段の生活の中での湖との関わりでの定着を目指す取組	29	840,938
		小計(重複含む)	57	1,532,857
		合計(重複含む)	155	40,692,669
		合計(重複除く)	133	30,268,501

平成25年度 マザーレイク 2 1 計画関連事業の概要（内訳）

（単位：千円）

連番 (重複合)	連番 (重複除)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳					
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他	
<h2>琵琶湖流域生態系の保全・再生</h2>																
<h3>湖内（良好な水質と栄養塩バランスの回復と、多様で豊かな在来生物群集の再生を目指す取組）</h3>																
1	1	1	水質汚濁対策事業	琵琶湖政策課	滋賀県		公共用水域の水質モニタリングをおこなうことにより、公共用水域の汚濁の状況を把握する。	法公共用水域（琵琶湖・河川）の常時監視をおこなう。	琵琶湖および河川の水質モニタリングをおこなう。 琵琶湖は琵琶湖環境科学研究センターが、河川は委託によりおこなう。	24,285			2,285		22,000	
2	2	2	琵琶湖の総合保全に向けての総合的・学際的な調査検討	琵琶湖政策課	滋賀県	環境省	現行の環境基準（COD）だけでは、琵琶湖の有機汚濁の状況が把握できなくなっていることから、有機汚濁のメカニズムを解明すると共に、有機物等の新たな水質管理手法を構築する。	○陸域からの有機物や栄養塩等の流入実態と湖内生態系との関係の詳細解明 ○新たな水質管理のための有機物指標やモニタリング手法の提示 ○有機物の湖内生産に寄与する沿岸帯の役割の解明	○陸域からの流入実態と湖内生態系との関係の解析 ・発生源別流入実態調査、・漁網等付着生物の状況把握調査、・琵琶湖流域統合管理モデルの精度向上 ○新たな有機物指標やモニタリング手法の提示 ・難分解性有機物の生物への影響調査、・モニタリング手法関連調査、・有識者による検討会 ○沿岸帯機能評価調査 ・湖沼水質形成における沿岸帯の影響因子・制御因子の解明調査、アドバイザリー会合	26,209	12,404		13,805			
3	3	3	水温上昇が琵琶湖の水産生物に及ぼす影響の解明	水産課	県		温暖化による水温上昇の影響解明および適応技術を開発する。	温暖化の影響を特に受けるイサザの調査・技術開発を行う。	・生息環境および資源変動要因解明調査 ・種苗生産技術の開発	1,240				1,240		
4	4	4	世代をつなぐピワマスプロジェクト	水産課	米原市		ピワマス遡上環境を整備し、ピワマス資源の増殖を図る。	天川において魚道を設置し、遡上しやすい流路を確保する。	魚道の設置：3カ所	725			725			
5	5	5	【新規】南湖のホンモロコにぎわい復活事業	水産課	県		南湖の漁場環境を改善し、ホンモロコにぎわいを取り戻す。	・水草を刈り取り、ホンモロコ稚魚の生息環境を改善する。 ・調査用に標識を施した種苗を放流する。	・下笠のヨシ帯沖での水草刈り取り：150ha ・種苗放流：100万尾	15,700			15,700			
6	6	6	北湖深水域と湖底環境の把握	琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖環境科学研究センター		地球温暖化の進行が懸念される中で、北湖第一湖盆の貧酸素化が頻出する可能性があるため、その状況を的確に把握する。	深層部の水質や底質の状況の長期変動を把握するとともに、溶存酸素濃度の違いによる底質からの栄養塩等の溶出状況を調べる。また、気象変動が湖水の動態や深湖底の低酸素化に及ぼす影響を明らかにする。	・溶存酸素濃度や水質の長期変動の把握 ・底質からの栄養塩等の溶出とその影響評価、底泥溶出実験 ・湖水の物理的動態と深湖底溶存酸素濃度の短期変化の影響因子把握	8,772			448	8,324		
7	7	7	琵琶湖深湖底低酸素化と生物の関係究明	琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖環境科学研究センター		琵琶湖深湖底の低酸素化と生物の関係を究明するため、湖底生物群集を対象に、低酸素化による生態系への影響把握と評価を目指す。	湖底生物群集の生息量の定量化と分布を把握するほか、溶存酸素濃度の変動による底生生物への影響を把握する。	・北湖深底部での水中有素ロボット観測および底泥採集による底生動物等の分布調査 ・昼夜観測による低酸素がヨコエビ等の昼夜移動への影響調査 ほか	3,130				3,130		
8	8	8	プランクトンの季節的遷移から見た水質評価手法の検討（琵琶湖政策課計上分除く）	琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖環境科学研究センター		水質を形成する重要な要素であり、琵琶湖の生態系の基礎をなすプランクトンの量や種類を継続的に把握するとともに、蓄積されたデータを基に季節ごとの出現種や数と水質および気象変動との関係を明らかにする。	・生態系の基礎として水質形成の役割を担うプランクトンの発生状況を定期的に把握する。 ・プランクトンの季節的遷移と気象や物理化学的な水質との相関を解析し、モデルを構築する。	・琵琶湖、瀬田川におけるプランクトンのモニタリング（月2回） ・プランクトン組成と物理化学的要因との関係の把握、考察 ・琵琶湖版プランクトンモデル構築	2,239				2,239		

連番 (重複合)	連番 (重複除)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
9	9	9	化学物質の影響把握と分析手法の検討	琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖環境科学研究センター		化学物質の有害性や暴露等の情報が不足する中、科学的な環境リスク評価に向け、現状把握に有効な手法の検討・確立と情報の蓄積を図る。	水や大気データで優先度の高い未規制化学物質の初期リスク評価手法の適用を検討する。また、琵琶湖底質への化学物質等の蓄積状況を調査するほか、環境リスク化合物のバイオアッセイ分析手法の開発等を行う。	・水および大気環境中の未規制化学物質の初期リスク評価手法の検討 ・琵琶湖底質調査の最適化検討と化学物質等の実態把握調査 ・琵琶湖や河川での医薬品等由来化学物質の分析手法の確立 ほか	2,408					2,408
10	10	10	琵琶湖流域における水・生物・暮らしの「つながり」の再生に関する研究 (琵琶湖政策課計上分除く)	琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖環境科学研究センター		琵琶湖流域における水・生物・暮らしの「つながり」に着目し、水・物質循環、生物の生息状況など多様な側面と関連性から流域の現況を明らかにするとともに、水環境保全の方向性やあり方を提示する。	琵琶湖とその流域を対象とした水質等のシミュレーションモデルを構築し、各種対策効果の検証を行う。また、水系のつながりと水や物質循環などの関連性に着目し、流域の現況を明らかにするほか、市民やNPO等と協働で琵琶湖の総合保全を進める。	・シミュレーションモデルの精度向上と過去再現 ・堰堤分布等の河川環境GIS解析、水質、底質、底生生物調査、魚類調査 ・県域や流域レベルの市民参画実践	6,826					6,826
11	11	11	琵琶湖水の新たな水質管理指標に関する研究 (琵琶湖政策課計上分除く)	琵琶湖環境科学研究センター	琵琶湖環境科学研究センター		湖内での難分解性有機物の蓄積等による利水や湖内の生態系への影響を検討し、湖沼環境の変化や生態系保全を踏まえて窒素、リンに関する新たな管理指標や目標を提示する。	窒素／リン比の増加による生態系への影響を評価するため、国内の湖沼での窒素増加現象を整理するとともに、細菌やプランクトンへの影響を評価する。	・窒素に対する微生物応答（室内実験、フィールド調査） ・水質目標値設定にかかる資料整理	3,236					3,236
12	12	12	琵琶湖生態系修復総合対策研究	水産試験場	県		大きな歪みが生じている琵琶湖の生態系を修復する。	生物多様性に配慮しながら、琵琶湖の生態系を総合的に修復する技術を開発する。	・生物多様性モニタリング ・沿岸帯の魚貝類生産機能修復再生研究 ・水産資源造成技術開発研究	3,352			1,782		1,570
13	13	13	琵琶湖沿岸環境変動の影響調査研究	水産試験場	県		漁網の汚損、水草の異常繁茂などの原因を明らかにし、漁場環境改善に向けた対策を示す。	左記目的を達するため調査研究を行う。	・南湖湖底富栄養化等状況把握調査 ・漁網への藻類等付着メカニズム解明対策研究 ・魚類相の変化が沿岸環境に与える影響評価研究 ・生活排水処理水が河川漁場環境に及ぼす影響の把握	490			490		
14	14	14	漁況予報調査研究	水産試験場	県		琵琶湖漁業における重要な魚種であるアユの漁況予報を行う。	産卵状況や仔稚魚生息状況、湖中魚群分布状況、漁獲状況調査および漁獲魚体型測定などを行いアユの資源状況を把握する。	・産卵状況調査 ・アユ仔稚魚生息状況調査 ・湖中魚群分布調査 ・漁獲状況調査 ・漁獲魚体型測定調査	1,795			1,795		
15	15	15	漁場環境調査研究	水産試験場	県		漁場環境の動向を定期的に把握するとともに、突発的なプランクトン異常発生や魚介類の異常死亡事故の調査、指導を行う。	左記目的を達するため試験研究を行う。	・琵琶湖定点定期観測調査 ・西の湖水草繁茂調査 ・魚介類の異常死亡事故等調査	695			695		
16	16	16	【新規】アユ資源動向予測調査研究	水産試験場	県		平成24年の産卵不調の原因解明とともに、迅速で精度の高い資源予測技術を開発する。	・産卵量減少の原因の想定・検討 ・環境要因の変動と成長・生残との関係調査 ・湖産アユの遺伝的特徴および多様性の変化の有無を検証	・産卵量減少要因解明調査研究 ・アユ資源の動向予測 ・アユ資源の減耗と遺伝的变化の状況調査	5,000			3,500		1,500
							小計	16 事業	小計	106,102					

連番 (重複合)	連番 (重複除)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳						
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他		
湖辺域（絶滅に瀕する在来種の種数と外来種の減少、在来魚介類の再生産の回復と漁獲量の増加、湖岸景観の回復を目指す取組）																	
17	—	1	【再掲】 琵琶湖の総合保全に向けた総合的・学際的な調査検討	琵琶湖政策課	滋賀県	環境省	現行の環境基準（COD）だけでは、琵琶湖の有機汚濁の状況が把握できなくなっていることから、有機汚濁のメカニズムを解明すると共に、有機物等の新たな水質管理手法を構築する。	○陸域からの有機物や栄養塩等の流入実態と湖内生態系との関係の詳細説明 ○新たな水質管理のための有機物指標やモニタリング手法の提示 ○有機物の湖内生産に寄与する沿岸帯の役割の解明	○陸域からの流入実態と湖内生態系との関係の解析 ・発生源別流入実態調査、・漁網等付着生物の状況把握調査、・琵琶湖流域統合管理モデルの精度向上 ○新たな有機物指標やモニタリング手法の提示 ・難分解性有機物の生物への影響調査、・モニタリング手法関連調査、・有識者による検討会 ○沿岸帯機能評価調査 ・湖沼水質形成における沿岸帯の影響因子・制御因子の解明調査、アドバイザー一会合	26,209	12,404			13,805			
18	17	2	琵琶湖レジャー利用適正化推進事業 （びわこルールキッズ事業分除く）	琵琶湖政策課	滋賀県	—	琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。	①プレジャーボートの航行規制 ②適合原動機搭載艇表示制度の徹底 ③外来魚のリリリース禁止 ④琵琶湖レジャー陸上監視・指導補助員設置事業	引き続き、琵琶湖ルールに基づき、琵琶湖のレジャー利用の適正化を推進する。 ・平成24年10月に完全施行された改正琵琶湖レジャー条例による適合原動機の使用と適合証表示制度の徹底を着実にする。	25,443			24,075	1,368			
19	18	3	内湖再生検討事業 （農政課計上分除く）	琵琶湖政策課	滋賀県	環境省	・早崎内湖は、もとより湧水に恵まれた土地で、かつては固有種ゲンゴロウブナの琵琶湖最大の産卵場であり、ネジレモ・イバラモなどの貴重な植物が生育するなど、琵琶湖の中でもとりわけ質の高い生態系を有していた。この早崎内湖を再生し、湖辺域のピオトープの拠点になるとともに琵琶湖生態系の保全を目指す。	・早崎内湖再生20ha	生物環境水質浄化機能調査 地域主体型環境調査 水管理業務 地形測量 用地買収（約20ha）	416,789	44,275			372,514			
20	19	4	ヨシ群落保全管理事業	琵琶湖政策課	滋賀県	環境省 （ヨシ群落造成事業）	・ヨシ群落は、琵琶湖の自然景観の重要な要素であるとともに、生物の成育・生息の場、人々の安らぎの場など、様々な機能を有している。しかし、湖岸の浸食や干拓、埋め立てなどにより減少してきており、ヨシ群落保全条例によりヨシ群落の保全を図るとともに、ヨシ刈り等の維持管理事業やヨシ帯の造成により、ヨシ群落の維持、拡大を図る。	・ヨシ群落造成事業 近年の環境変化に伴い、湖岸植生が後退した野洲市菟浦地区において、漂砂防止構造物（突堤など）や波浪防止構造物（消波堤）を設置し、湖底の土砂移動を抑制して、ヨシ群落の持つ再生能力が発揮できる環境を整えて、ヨシ群落の自力再生をめざす。 ・ヨシ群落育成事業 （株）伊藤園からの寄附金により、ヨシ群落保全に係る事業（①ヨシ帯再生事業（彦根市新海浜地区）、②ヨシ帯維持管理事業（刈取清掃）、③ヨシボランティア活動促進事業）を実施する。	・ヨシ群落造成事業 消波堤1基 木杭突堤3基 ・ヨシ群落育成事業 ①再生0.08ha ②維持管理3.0ha ③助成10団体	27,500	7,650		9,350	10,500			
21	20	5	ヨシ群落維持再生事業	琵琶湖政策課	滋賀県		・ヨシ群落や地域の特性に応じて、その多様な機能に十分に留意しながら、抽水植物環境を維持するためのヤナギやハンノキなどの剪定や伐採を適切な形で実施する。	・健全なヨシ群落を保全・育成するため、ヨシ刈りやヤナギの伐採および清掃等の維持管理を実施する。	・ヤナギ除伐130本	2,000			2,000				
22	21	6	水草刈取事業	琵琶湖政策課	滋賀県		・異常繁茂している琵琶湖の水草による生活環境や生態系への影響を改善する ・異常繁茂している水草を有効利用し、資源循環させる。	・生活環境や船舶の航行に支障がある等、緊急性や公共性の高いところから重点的に表層刈り取りを行う。 ・南湖の湖流促進等を図り、水草やハスの根こそぎ除去を実施する。 ・刈り取った水草を農地等で有効利用する。	・表層部（1.5m）の水草刈取事業：除去量1,200 t ・根こそぎ刈り取り事業：面積966ha ・有効利用：農地等	201,800	15,000		26,811	159,989			
23	22	7	【新規】 エイリアン・ウォッチャー事業 （外来水生植物除去に関する事業）	自然環境保全課	県	—	生態系に影響を及ぼす外来生物（特定外来生物、要注意外来生物、指定外来種）の生息状況を把握して、対策を講じる。	過年度までの調査結果を基に、動物3種、植物1種をメインに補充調査および駆除を実施する。	・外来獣：アライグマ、ハクビシン、ヌートリア ・外来植物：オオバナミズキンバイ	55,451				55,451			

連番 (重複)	連番 (重複)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
24	23	8	【新規】 エイリアン・バスター事業 (外来水生植物除去に関する 事業)	自然環境 保全課	県、 ボラン ティア等	—	特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」や 「ミズヒマワリ」等の拡散防止と根絶を図 る。	地域住民やボランティアの活動を支援すると ともに、業者委託による駆除を行う。	・地域住民等による調査および駆除作業（10 回） ・業者委託による駆除作業（50箇所）	9,334					9,334
25	24	9	内湖再生検討事業 (琵琶湖政策課計上分除く)	農政課	県	—	・早崎内湖は、もとより湧水に恵まれた土地 で、かつては固有種ゲンゴロウプナの琵琶湖 最大の産卵場であり、ネジレモ・イバラモな どの貴重な植物が生育するなど、琵琶湖の中 でもとりわけ質の高い生態系を有していた。 この早崎内湖を再生し、湖辺域のビオト ープの拠点になるとともに琵琶湖生態系の保全 を目指す。	当該事業に係る湛水水田の借地を行う。	約17ha	8,520			520		8,000
26	25	10	環境保全型農業直接支払交付 金	食のプラ ンド推進 課	各農業者	農林水産 省	琵琶湖や周辺環境を保全すとともに消費者 に安全で安心な農産物を提供する	環境こだわり農業を実践した上でさらに温暖化 防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動 に取り組む農業者に補助する	取組面積 15,363ha	213,335			213,335		
27	26	11	セタシジミ種苗放流事業	水産課	県		セタシジミ資源の回復	草津市志那沖の砂地造成漁場において、セタシ ジミ種苗を放流する。	セタシジミ稚貝放流：1,200万個	3,000			3,000		
28	27	12	水産基盤整備事業（覆砂）	水産課	県	水産庁	セタシジミの産卵繁殖場となる砂地を回復さ せ、水産資源の増大を図る。	かつて主要漁場であった南湖において、砂地造 成する。	砂地造成面積：5.5ha	148,418	72,500	68,300			7,618
29	28	13	水産基盤整備事業（ヨシ帯）	水産課	県	水産庁	コイ科魚類の産卵繁殖場であるヨシ帯を回復 させ、水産資源の増大を図る。	天然ヨシ帯の衰退が著しい地区において、ヨシ 帯を造成する。	ヨシ帯造成面積：1.3ha	148,418	72,500	75,900	18		
30	29	14	有害外来魚ゼロ作戦事業	水産課	県、滋賀 県漁業協 同組合連 合会		在来魚介類に大きな食害を与える外来魚を捕 獲する。	外来魚の捕獲、捕獲した外来魚の有効利用およ び効果的な駆除技術の開発などを行う。	・外来魚捕獲：315トン ・外来魚稚魚の駆除：600万尾 ・オオクチバス親魚の重点捕獲	78,050			2,850		75,200
31	30	15	カワウ漁業被害防止対策事業	水産課	市町、滋 賀県漁業 協同組合 連合会	(農水省 生産局)	カワウの食害による漁業被害を軽減させる。	・漁場に飛来するカワウの捕獲、追い払い ・営巣地における捕獲	・火花、防鳥糸による追い払い、銃器による捕 獲 ・大規模営巣地におけるエアライフルによる捕 獲	12,262			1,262		11,000
32	31	16	多様で豊かな湖づくり推進事 業	水産課	県、(公 財)滋賀 県水産振 興協会、 滋賀県漁 業協同組 合連合会	水産庁	種苗放流等により水産業の基盤確保を図る。	・ニゴロブナの種苗生産、放流 ・ウナギ、ビワマスの放流 ・人工河川の運用によるアユ資源の添加	・ニゴロブナ放流：全長20mm800万尾、全長 120mm90万尾 ・ウナギ放流：800kg、ビワマス放流：70万尾 ・アユ放流：13トン	67,295	4,500		53,566		9,229
33	32	17	ホンモロコ資源緊急回復対策 事業費	水産課	県		激減したホンモロコの漁獲量を回復させる。	水田を活用してホンモロコ種苗の生産・放流を 行う。	・ホンモロコ親魚養成：3トン ・種苗の生産・放流：800万尾	16,200			12,150		4,050
34	—	18	【再掲】 水温上昇が琵琶湖の水産生物 に及ぼす影響の解明	水産課	県		温暖化による水温上昇の影響解明および適応 技術を開発する。	温暖化の影響を特に受けるイサザの調査・技術 開発を行う。	・生息環境および資源変動要因解明調査 ・種苗生産技術の開発	1,240					1,240
35	33	19	琵琶湖固有種ワタカで学ぶ南 湖再生事業	水産課	県		水草等を摂食する琵琶湖固有種魚類の生息量 を回復させる。	水草を摂食するワタカと植物プランクトンを摂 食するゲンゴロウプナを放流する。	・ワタカ種苗生産放流：35万尾 ・ワタカ種苗育成展示事業：10万尾 ・ゲンゴロウプナ種苗生産放流：20万尾	5,400					5,400
36	34	20	内湖の在来魚生産機能の回 復・向上試験事業	水産課	県		かつて南湖が有していた在来魚再生産機能 を取り戻す。	西の湖において、ニゴロブナ等の種苗放流と外 来魚駆除を総合的に実施して、内湖の水産資源 増殖効果を評価する。	・ニゴロブナ種苗放流：200万尾 ・ホンモロコ種苗放流：200万尾 ・外来魚駆除	11,400			7,400		4,000
37	—	21	【再掲】 世代をつなぐビワマスプロジェ クト	水産課	米原市		ビワマス遡上環境を整備し、ビワマス資源の 増殖を図る。	天川において魚道を設置し、遡上しやすい流 路を確保する。	魚道の設置：3カ所	725			725		
38	35	22	魚のゆりかご水田推進プロ ジェクト事業費	農村振興 課	県	—	・水田の魚類産卵繁殖場としての再生 ・地域住民の環境意識の向上、環境学習の場 の提供 ・人と人とのつながりの強化による地域コ ミュニティーの活性化	県内外に対する本プロジェクトの普及啓発や地 域活動組織に対する魚道整備の技術支援等。	・魚のゆりかご水田取組拡大に向けた地域活動 組織向けの普及啓発活動 ・都市住民へのPR（ニゴロブナ（25627）フェ アの開催、その他県外へのPR活動）	5,200			200		5,000

連番 (重複番)	連番 (重複除)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
39	36	23	生物環境アドバイザー制度	監理課 森林保全課 耕地課	滋賀県	—	「人と自然にやさしい建設工事」を実現するため、生物環境等の専門家からの指導助言を受けながら、公共施設の計画づくりや工事実施を行うものである。	建設関係技術者の生物に対する知識の向上を図りながら、生物環境に配慮した公共事業の円滑な執行を図る。	適用箇所 11箇所	2,298	0	0	2,298	0	0
40	37	24	湖岸緑地再生整備事業	都市計画課	滋賀県	国土交通省	自然的環境・景観保全	都市公園事業	都市公園整備	55,500	25,000	27,713	21	2,766	0
41	38	25	びわこ地球市民の森事業	都市計画課	滋賀県	国土交通省	自然的環境・景観保全	都市公園事業	都市公園整備	136,250	62,500	73,705	45	0	0
42	39	26	びわ湖を中心とした広域的景観形成事業	都市計画課	滋賀県		湖国ならではの「びわ湖周辺のひろがりとながりのある風景」を守り育てる。	・びわ湖周辺の優れた眺望景観等を保全する方を構築する。 ・びわ湖周辺の屋外広告物の規制のあり方を見直す。	・優れた眺望景観の選定 ・広域的景観形成基準(案)の策定 ・琵琶湖周辺地域モデル(案)(許可基準)の策定	8,300		8,300			
43	40	27	琵琶湖淀川流域自治推進事業	広域河川政策室	滋賀県		琵琶湖淀川流域における流域自治の推進	生態系に配慮した琵琶湖水位操作方法の検討	検討業務委託	4,300			4,300		
44	41	28	河川環境保全再生事業	河川・港湾室	滋賀県		南湖を健全な生物生息空間、豊かな漁場として再生する。	琵琶湖南湖の生物生息空間の回復を図る。	南湖窪地埋め戻し工事一式	200,000			0		200,000
45	42	29	補助河川環境整備事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	汚濁の著しい河川や内湖の浄化を行い、琵琶湖の水質浄化を図る。	汚濁の著しい内湖や南湖の閉鎖性水域に流入する河川において水質改善対策を実施する。	植生工一式、 モニタリング調査一式	199,500	70,000	129,500	0		
46	43	30	補助河川総合流域防災事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	比較的小規模な一級河川の改修や環境整備等を実施する。	河道掘削工一式、護岸工一式、測量調査一式、水草除去工一式等	708,750	337,500	371,200	50		
47	44	31	みずべみらい再生事業(湖岸保全整備事業)	河川・港湾室	滋賀県		琵琶湖岸に見られる浸食に対する対策を実施し、湖岸の保全を図る。	琵琶湖岸の砂浜侵食防止対策を実施することにより、湖岸の自然的環境・景観保全を図る。	突堤工一式、養浜工一式、調査設計一式	24,980		24,900	80		
48	45	32	補助広域河川改修事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	洪水被害を軽減するため、河川環境に配慮しながら、天井川の切り下げや流下断面の拡大などの河川改修を実施する。	河道掘削工一式、護岸工一式、測量調査一式等	1,827,310	877,465	949,800	45		
49	46	33	単独河川改良事業	河川・港湾室	滋賀県		河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	緊急的に治水対策を必要とする河川改良事業および調査等を実施する。	河道掘削工一式、護岸工一式、測量調査一式等	2,348,600		2,348,600	0		
50	47	34	南湖生態系の順応的管理方法の検討	琵琶湖環境科学センター	琵琶湖環境科学センター		南湖が抱える様々な問題に計画的に取り組むための評価指標や保全・管理目標を設定するとともに、長期的視野に基づいた施策事業を推進するための順応的管理方法の構築を目指す。	・引き続き湖流や流れ藻漂着調査などを行うほか、外来植物の分布把握や生物多様性保全のための制度的手法等の研究を行う。 ・本プロジェクトの成果や過去の研究、文献調査を総合解析し、南湖生態系管理のためのガイドラインを取りまとめる。	・水草除去後の水草現存量および種構成、底生生物の生息密度等の変動把握調査などを実施。 ・一般向けガイドライン、実務者向け水草管理技術ガイドライン、科学的知見に基づくサイエンスレポートの3つをまとめる。	12,114					12,114
51	—	35	【再掲】琵琶湖沿岸環境変動の影響調査研究	水産試験場	県		漁網の汚損、水草の異常繁茂などの原因を明らかにし、漁場環境改善に向けた対策を示す。	左記目的を達するため調査研究を行う。	・南湖湖底富栄養化等状況把握調査 ・漁網への藻類等付着メカニズム解明対策研究 ・魚類相の変化が沿岸環境に与える影響評価研究 ・生活排水処理水が河川漁場環境に及ぼす影響の把握	490			490		

連番 (重複)	連番 (重複)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
52	—	36	【再掲】 漁況予報調査研究	水産試験場	県	—	琵琶湖漁業における重要な魚種であるアユの漁況予報を行う。	産卵状況や仔稚魚生息状況、湖中魚群分布状況、漁獲状況調査および漁獲魚体型測定などを行いアユの資源状況を把握する。	・産卵状況調査 ・アユ仔稚魚生息状況調査 ・湖中魚群分布調査 ・漁獲状況調査 ・漁獲魚体型測定調査	1,795			1,795		
小計							36	事業	小計	7,014,176					
集水域（適切に管理された森林や生物多様性に配慮した農地の増加と在来生物の回復を目指す取組）															
53	48	1	水質汚濁対策事業 (琵琶湖政策課計上除く)	環境政策課	滋賀県	—	工場等からの排水および地下水の汚染状況を監視する。	工場等排水および地下水質の調査を実施する(大津市除く)。また、その調査分析精度を管理する。	工場等排水調査：約350～400工場 地下水質調査：約350～500地点	14,254	—	—	14,254	—	—
54	—	2	【再掲】 琵琶湖の総合保全に向けての総合的・学際的な調査検討	琵琶湖政策課	滋賀県	環境省	現行の環境基準(COD)だけでは、琵琶湖の有機汚濁の状況が把握できなくなっていることから、有機汚濁のメカニズムを解明すると共に、有機物等の新たな水質管理手法を構築する。	○陸域からの有機物や栄養塩等の流入実態と湖内生態系との関係の詳細解明 ○新たな水質管理のための有機物指標やモニタリング手法の提示 ○有機物の湖内生産に寄与する沿岸帯の役割の解明	○陸域からの流入実態と湖内生態系との関係の解析 ・発生源別流入実態調査、・漁網等付着生物の状況把握調査、・琵琶湖流域統合管理モデルの精度向上 ○新たな有機物指標やモニタリング手法の提示 ・難分解性有機物の生物への影響調査、・モニタリング手法関連調査、・有識者による検討会 ○沿岸帯機能評価調査 ・湖沼水質形成における沿岸帯の影響因子・制御因子の解明調査、アドバイザリー会合	26,209	12,404		13,805		
55	49	3	浄化槽設置整備事業	下水道課	県	—	生活環境の改善、公共用水域の水質保全	浄化槽の整備に係る市町への補助	設置基数 277基 撤去基数 3基	40,743			40,743		
56	50	4	公共下水道事業(*1)	下水道課	市町	国土交通省	生活環境の改善、公共用水域の水質保全	公共下水道の整備	公共下水道の整備	7,408,800	3,742,700				3,666,100
57	51	5	流域下水道建設事業(*2)	下水道課	県	国土交通省	生活環境の改善、公共用水域の水質保全	流域下水道の整備	流域下水道の整備	5,669,422	3,106,587	1,296,100		1,172,535	94,200
58	52	6	林業試験研究	森林政策課	県(森林センター)	林野庁	森林・林業の振興のために必要な試験研究課題を行う。	森林センターが課題となるテーマの試験研究を実施する。	低コストの再造林につながる育苗技術の確立	883	300		583		
59	53	7	森林整備地域活動支援交付金	森林政策課	森林所有者等	林野庁	森林の多面的機能を発揮させる、適正な森林整備を促す	計画的な森林整備や集約化を促すための活動に支援	森林経営計画作成促進 2500ha 施業集約化促進 500ha	50,400	25,200		12,600		12,600
60	54	8	県民の森等整備管理事業	森林政策課	県	—	県の所有する施設の維持管理を行う。	山門水源の森、きゃんせの森、県民の森の維持管理を行う。	山門水源の森の除草等	5,258			5,258		
61	55	9	補助造林事業	森林保全課	森林組合等	林野庁	森林CO2吸収量確保に向けた森林整備および基盤整備の補助	人工造林、除間伐等の補助	森林整備2,123ha、路網整備48,776m	720,300	413,400	274,400	32,500		
62	56	10	補助治山事業	森林保全課	県	林野庁	保安林の指定目的を達成するための事業の実施	保安施設整備、森林整備等の実施	補助治山等52カ所、災害関連1カ所	1,542,974	730,500	812,300	174		
63	57	11	単独治山事業	森林保全課	県	林野庁	保安林の指定目的を達成するための事業の実施	保安施設整備、森林整備等の実施	県営5カ所、補助営6カ所	46,700	0	42,300	4,400		
64	58	12	保安林整備等管理費	森林保全課	県	林野庁	保安林管理のための経費	保安林整備管理、林地開発、森林保全管理等にかかる経費	先に係る事務的経費	17,879	3,416	0	14,463		
65	—	13	【新規・再掲】 エイリアン・ウォッチャー事業 (外来水生植物除去に関する事業)	自然環境保全課	県	—	生態系に影響を及ぼす外来生物(特定外来生物、要注意外来生物、指定外来種)の生息状況を把握して、対策を講じる。	過年度までの調査結果を基に、動物3種、植物1種をメインに補充調査および駆除を実施する。	・外来獣：アライグマ、ハクビシン、ヌートリア ・外来植物：オオバナミズキンバイ	55,451					55,451

連番 (重複有)	連番 (重複無)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町負担金	その他
66	一	14	【再掲】 環境保全型農業直接支払交付金	食のブランド推進課	各農業者	農林水産省	琵琶湖や周辺環境を保全すとともに消費者に安全で安心な農産物を提供する	環境こだわり農業を実践した上でさらに温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に補助する	取組面積 15,363ha	213,335			213,335		
67	59	15	農業濁水防止活動推進事業	農業経営課	県		農業濁水の防止のための取組を推進する	河川の透視度調査および啓発活動	59河川・78地点の透視度調査および啓発活動	454			454		
68	60	16	県営みずすまし事業費	耕地課	滋賀県	農林水産省	琵琶湖の水質保全対策として、農業排水の循環かんがいシステム、農業排水浄化施設を整備し、農業排水路から公共水域へと流出する汚濁負荷量の削減をおこなう	循環かんがいシステム整備 農業排水浄化施設	・白鳥川中流Ⅰ期地区 環境施設整備等 1式	68,775	32,000	19,800	3,325	13,650	
69	61	17	県営かんがい排水事業（地域用水型）	耕地課	滋賀県	農林水産省	農業用排水施設整備にあたり、農業用水の循環利用を推進することで、農業用水の効率的な利用を図り、地域用水機能の増進を図る	農業用排水施設整備	・野洲川沿岸地区 用水路工 L=1.2km等 ・野洲川沿岸Ⅱ期地区 用水路工 L=0.5km等	103,621	48,375	27,952	3,107	24,187	
70	62	18	県営かんがい排水事業（一般型）	耕地課	滋賀県	農林水産省	農業用排水路等の農業生産の基礎となる水利施設の整備	農業用排水施設整備	・犬上南部地区 排水路工 L=40m等 ・草津用水地区 送水管路工 L=2.2km等 ・安曇川左岸地区 幹線用水路工 L=258m ・大原地区 用水路工 L=4.09km	913,757	382,500	215,998	24,000	191,250	100,009
71	63	19	県営経営体育成基盤整備事業	耕地課	滋賀県	農林水産省	琵琶湖の水質を改善するための、環境に配慮した農業基盤の整備	環境に配慮したほ場の整備、および老朽化で漏水のある用排水路の更新。	区画整理工 A=52.7ha 用水路工 L=8.4km 排水路工 L=2.8km 他	1,108,740	522,519	304,400	49,350	92,621	139,850
72	64	20	県営中山間地域総合整備事業	耕地課	滋賀県	農林水産省	中山間地域の農地の保全と活性化	獣害防止柵 L=38.0km	獣害防止柵 L=4.3km	105,000	53,762	32,900	3,676	14,662	
73	65	21	国営造成施設管理体制整備促進事業費	耕地課	滋賀県、市町	農林水産省	事業主体が地域と連携して、土地改良区等の管理体制の整備を図る。	農業水利施設が有する多面的機能の発揮に対応した管理体制の整備を図る	管理体制整備の推進活動 管理体制の整備・強化に対する支援	189,316	125,211		64,105		
74	66	22	びわこ流域田園水循環推進事業（水田反復利用施設事業を除く）	耕地課	田園水循環推進協議会		農業排水の再利用を進めることで、琵琶湖への汚濁負荷の軽減を図る	循環かんがい施設や反復利用施設を活用し、農業排水の再利用に取り組む事業主体に対し、掛かり増し経費を支援する	再利用排水量や懸濁物質流入防止量に応じて、施設の操作運転費や点検管理費等を対象とした支援	6,600			6,600		
75	67	23	水田反復利用施設事業	農村振興課	市町および土地改良区	県	琵琶湖に係る農業排水負荷の低減をはかる。	農業排水の反復利用や農業用水の節水などを目的として、排水路反復利用施設や自動給水栓の整備などの施設整備を行う。	排水路反復利用施設整備 1ヶ所	1,500			1,500		
76	68	24	農業集落排水事業	農村振興課	市町	農林水産省	適正なる維持管理運用がなされ、供用開始後7年以上経過した農業集落排水施設の安定した施設能力確保	農業集落排水施設の更新・改造	整備箇所 4地区	251,000	125,500		25,100		100,400
77	69	25	村づくり交付金	農村振興課	高島市	高島市	自然と人間が織りなしてきた農村の水利資産や自然環境、暮らしなどの地域資源を伝統・文化的視点から見直し、屋根のない博物館として伝統的農業施設及び美しい農村景観等の保全復元に配慮した各種の整備を行う。	農業生産基盤として、ほ場整備2.2ha、農業用水路2.1km、農道整備1.2km、獣害防止柵7.4km、農村生活環境として、自然生態系水路0.2km、里山管理道3.3kmを整備する。	排水路工 L = 145m	9,800	4,870		2,495	2,435	
78	70	26	地域用水機能増進事業	農村振興課	土地改良区	国・県・市町	農業用水のもつ地域用水機能を、地域住民により維持・増進されていく、体制の確立を図る。	地域用水機能の増進のために行う配水管理や施設管理や、それを補完する施設整備を行う。	野洲川沿岸地区 1式 新愛知川地区 1式	33,162	22,000		11,162	0	

連番 (重複有)	連番 (重複無)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
79	71	27	みずすまし構想推進事業	農村振興課	みずすましアドバイザー研修主催者	県	協議会の運営や、生物環境に関わる理論や調査法などを習得するための研修会に参加し、みずすまし構想の推進を図る。	みずすまし推進協議会の運営や、みずすましアドバイザー研修に参加する。	みずすまし推進協議会の運営 みずすましアドバイザー研修の参加	209			209		
80	72	28	農山漁村活性化プロジェクト 支援交付金（ほ場整備事業 （一般））	農村振興課	市町等	農林水産省	耕地の区画改善、用排水路、農道の整備、耕地の集団化を総合的に整備し生産性の高いほ場にし、農業経営の安定化を図る。	整地工6.2ha、道路工2.3km、用水路工1.1km、排水路工2.3km、換地1式	換地 1式	20,052	10,026	0	5,017	2,995	2,014
81	73	29	棚田地域の総合保全対策事業	農村振興課	滋賀県	農林水産省	過疎・高齢化や獣害の多発等により耕作放棄地の発生が懸念される棚田地域において、「棚田ボランティア制度」による都市住民との共同作業を推進することで、棚田の良好な保全ならびに地域の活性化を図る。	・しが棚田ボランティア制度の運営 ・普及啓発活動	棚田ボランティア実施地区 7地区 棚田トラスト制度の運営 棚田地域交流・研究会の開催 1回	3,171					3,171
82	74	30	県営農地防災事業費	農村振興課	県	農林水産省	農業用施設等の災害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに国土保全に資すること。	ため池や用排水施設等の改修または補強を実施。	ため池改修 2箇所、用排水施設改修 3地区、石綿管撤去改修 5地区、調査 2地区	706,930	344,545	276,500	90	45,408	40,387
83	75	31	団体営農地防災事業費	農村振興課	市町等	農林水産省	農業用施設等の災害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに国土保全に資すること。	ため池や用排水施設等の改修または補強を実施。	ため池改修 1箇所	6,850	4,850	0	2,000	0	0
84	76	32	中山間地域等直接支払交付金	農村振興課	滋賀県	農林水産省	農業生産活動等を通じて中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、その多面的機能を確保する観点から、当該農業生産活動を行う農業者に対して直接支払を実施する。	1. 中山間地域等直接支払交付金 2. 中山間地域等直接支払推進交付金	1. 中山間地域等直接支払交付金 1568.6ha 2. 中山間地域等直接支払推進交付金 1式	179,293	105,123		74,170		
85	77	33	農村振興総合整備事業	農村振興課	滋賀県	長浜市、守山市	優良農地における営農の省力化と農林部の生活環境を改善する目的で、農業生産基盤整備と農村生活環境基盤整備を一体的に実施する団体営施工の農村整備事業に対して補助金を交付する。	農業生産基盤整備で農業用排水路を3路線と獣害防止柵1路線、また、農村生活環境基盤整備で集落道整備3路線、集落排水路1路線、防火水槽3基を整備する。	排水路工L＝850m、用地買収1式、用地測量業務1式	95,828	45,000	25,200	2,878	22,750	0
86	78	34	ふるさと・水と土保全対策費	農村振興課	滋賀県	農林水産省	農村地域における土地改良施設の持つ多面的な機能の発揮と集落共同活動の活性化を図ることを目的とする。	1. 調査研究事業 2. 研修事業 3. 推進事業	指導員研修会の開催2回 委員会の開催2回 ふるさと農村支援事業 6地区	2,027					2,027
87	79	35	事業発生土の再利用事業	監理課 耕地課	滋賀県	—	・建設発生土の有効利用を促進する。 ・自然環境保全のため土砂採取を抑制する。	設計、積算、発注、施工から完了の事業の各段階において建設発生土の工事間利用に関する情報を工事担当者に提供し、リサイクルを推進する。	建設発生土情報システムの利用 監理課 15台入 各土木事務・支所 85台入	473	0	0	473	0	0
88	—	36	【再掲】 生物環境アドバイザー制度	監理課 森林保全課 耕地課	滋賀県	—	「人と自然にやさしい建設工事」を実現するため、生物環境等の専門家からの指導助言を受けながら、公共施設の計画づくりや工事実施を行うものである。	建設関係技術者の生物に対する知識の向上を図りながら、生物環境に配慮した公共事業の円滑な執行を図る。	適用箇所 11箇所	2,298	0	0	2,298	0	0
89	80	37	地すべり対策事業	砂防課	県	国土交通省	地すべりによる被害の除却、軽減	地すべり防止施設の設置、地すべり防止工事	地下水位観測一式	21,000	10,000	11,000	0	0	0
90	81	38	補助通常砂防事業	砂防課	県	国土交通省	流域における荒廃地域の保全、土砂流出の防止	砂防設備の整備	堰堤工27箇所ほか	1,826,265	857,650	916,900	51,715	0	0
91	82	39	補助急傾斜地崩壊対策事業	砂防課	県	国土交通省	急傾斜地の崩壊による災害の防止	急傾斜地崩壊防止施設の設置、急傾斜地の崩壊防止工事	法面工5箇所ほか	799,785	337,270	370,900	30,875	60,740	0
92	—	40	【再掲】 補助河川総合流域防災事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	比較的小規模な一級河川の改修や環境整備等を実施する。	河道掘削工一式、護岸工一式、測量調査一式、水草除去工一式等	708,750	337,500	371,200	50		
93	—	41	【再掲】 補助広域河川改修事業	河川・港湾室	滋賀県	国土交通省	河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	洪水被害を軽減するため、河川環境に配慮しながら、天井川の切り下げや流下断面の拡大などの河川改修を実施する。	河道掘削工一式、護岸工一式、測量調査一式等	1,827,310	877,465	949,800	45		

連番 (重複)	連番 (重複)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳					
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他	
94	—	42	【再掲】 単独河川改良事業	河川・港 湾室	滋賀県		河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	緊急的に治水対策を必要とする河川改良事業および調査等を実施する。	河道掘削一式、護岸一式、測量調査一式等	2,348,600		2,348,600	0			
							小計	42 事業	小計	27,153,174						
つながりへの配慮（湖内、湖辺域、集水域を往来する在来生物の増加を目指す取組）																
95	83	1	【新規】 取り戻せ！つながり再生モデル構築事業	琵琶湖政 策課	滋賀県		琵琶湖と川や内湖とのつながり再生に向けた取組のモデルを構築する。	・公募により、つながり再生への意欲のある地域を3地域選定する。 ・選定地域において、つながり再生にむけた取組の検討（身近な水環境の持つ価値の発見、具体的な手法の検討、再生計画の策定）を支援する。 ・つながり再生の取組を他地域に広げるため、計画策定までの検討プロセスをガイドブックとしてまとめる。	・モデルとなる3地域の選定。 ・選定地域において関係者が集まり、合意形成を図ることができる「場」づくり。 ・つながり再生に向けた取組の検討への支援。	1,700			1,700			
96	—	2	【再掲】 補助河川総合流域防災事業	河川・港 湾室	滋賀県	国土交通 省	河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	比較的小規模な一級河川の改修や環境整備等を実施する。	河道掘削一式、護岸一式、測量調査一式、水草除去一式等	708,750	337,500	371,200	50			
97	—	3	【再掲】 補助広域河川改修事業	河川・港 湾室	滋賀県	国土交通 省	河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	洪水被害を軽減するため、河川環境に配慮しながら、天井川の切り下げや流下断面の拡大などの河川改修を実施する。	河道掘削一式、護岸一式、測量調査一式等	1,827,310	877,465	949,800	45			
98	—	4	【再掲】 単独河川改良事業	河川・港 湾室	滋賀県		河川流域内の人命財産を洪水被害から守る。	緊急的に治水対策を必要とする河川改良事業および調査等を実施する。	河道掘削一式、護岸一式、測量調査一式等	2,348,600		2,348,600	0			
							小計	4 事業	小計	4,886,360						
							『琵琶湖流域生態系の保全・再生』	小計	98 事業	『琵琶湖流域生態系の保全・再生』 小計	39,159,812					

暮らしと湖の関わりの再生

個人・家庭（身近な水環境と親しみ、自らのライフスタイルを見直していく人の増加を目指す取組）

99	84	1	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）推進事業	男女共同 参画課	県		事業者・労働者・NPO・行政など関係者が一体となって啓発活動を展開することにより仕事と生活の調和推進の社会的気運の醸成を図るとともに、男性や若者に対する意識改革を進める。	①仕事と生活の調和推進月間（11月）における集中的な広報・啓発活動 ②男性の家事・育児参画フォトコンテスト ③若年者を対象にした講演会	①ポスター3,000枚・リーフレット10,000枚作成、講演会開催（1回） ②7月～9月募集、11月表彰 ③講演会開催（1回）	1,098			1,098		
100	85	2	びわ湖まちかどむらかど環境塾事業	琵琶湖政 策課	滋賀県	—	①県民のみなさんと一緒になって、琵琶湖の現状や課題、さらには私たちの暮らしと琵琶湖の関わりについて考え、琵琶湖を守る行動へとともに高めあっていくきっかけづくりの場にする。こと。 ②県民のみなさんの琵琶湖への思いや既に取組んでおられる先進的な事例などを汲み取り、県の施策に反映させていくこと。	より多くの県民に『マザーレイク21計画』とは何か、琵琶湖の総合保全とは何かについて知ってもらい、琵琶湖をもう一度見つめ直し、暮らしを琵琶湖に近づけるため、身近な生活の場に入り込み、環境保全のネットワークの輪を広げる『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を開催する。	『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を県内各地で実施。 10地区/年	360			360		
101	86	3	散在性ごみ対策事業	循環社会 推進課	県	—	ごみの散乱防止に係る啓発活動、指導その他の活動を行う。	環境美化監視員を設置し、監視・パトロール、指導、啓発等を行わせる。	環境美化監視員の設置（7名）	13,101			13,101		

連番 (重複あり)	連番 (重複あり)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
102	87	4	淡海エコフオスター事業	循環社会推進課	県	—	環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るとともに、ごみの散乱を防止し、県民等と県が一体となった地域活動を推進する。	地域の環境美化を定期的に行うボランティア団体（企業、住民団体等）の活動支援	・活動希望場所の管理者等との調整 ・傷害保険および賠償責任保険への加入費を支援	1,075			1,075		
103	88	5	【新規】環境保全県民活動支援事業	循環社会推進課	県	—	環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るため、環境美化活動の実施および美しい湖国をつくる会が実施する清掃活動等への補助を行う。	・環境美化活動の実施 ・美しい湖国をつくる会への補助	・環境美化活動の実施 ・美しい湖国をつくる会への補助	4,683			4,683		
104	89	6	未来へつなぐ木の良さ体感事業	森林政策課	県、県産木材活用推進協議会	市町、学校法人、社会福祉法人、ほか	木のぬくもりや良さならびに「びわ湖材」を積極的に使用することを普及啓発する。	住宅新築時での「びわ湖材」利用、小中学校等での木製学習机整備、県産材活用のための技術開発その他調査研究への取組等を支援	1戸建て住宅の新築支援(120戸)、木の学習机導入支援(365組)、木製品導入支援(36事業体)ほか	152,465					152,465
105	90	7	しがの農水産物マーケティング戦略推進事業	食のブランド推進課	県		滋賀県産農畜水産物における「滋賀」の地域ブランド力の向上。	滋賀県産農畜水産物の総合的なPR活動の推進、県の顔となる農水産物の育成。	マーケティング推進会議の開催。産地主体の地域ブランド化の取組支援。	7,579			7,579		
106	91	8	しがの地産地消推進事業	食のブランド推進課	県		直売所の活性化や学校給食などの地域内流通の活性化、および卸売市場の機能を活用した県域流通の促進。	直売所、給食関係者、卸売市場等の連携強化および関係機関の調整、ならびに県民への情報提供。	地産地消推進会議の開催。農産物直売所の情報提供。	1,155			1,155		
							小計	8 事業	小計	181,516					
なりわい（琵琶湖流域保全と調和した生業（なりわい）の活性化と、企業による地域の環境や文化の保全、再生活動の活発化を目指す取組）															
107	92	1	県民活動支援の総合推進	県民活動課	県		県民活動支援の総合推進	「県民の社会貢献活動促進のための基本的な考え方」に基づき、県民の社会貢献活動に対する理解を促すとともに、活動の普及促進に努める。	・「協働ふらっとカフェ」の開催 ・「企業人を市民活動に誘おう！」協働プロジェクト ・滋賀県指定NPO法人審査会	3,571			314		3,257
108	93	2	林業労働力確保支援センター等事業	森林政策課	(社)造林公社	林野庁	林業の雇用環境の改善を図る。	雇用管理の改善や事業の合理化等の取り組みを林業労働力確保支援センターを通じて支援する。	林業労働力確保支援センターが雇用管理の指導等を行う。	127	24		103		
109	94	3	林業労働安全衛生総合対策事業	森林政策課	森林組合	林野庁	労働災害等が多いため、労働安全等を図る。	林業・木材製造業労働災害防止協会滋賀県支部が行う取り組みを支援する。	巡回指導活動や特殊健康診断等を実施する。	780	780				
110	95	4	林業雇用環境改善事業	森林政策課	県森連他		林業従事者の労働環境の改善等を図る。	雇用管理の改善や担い手育成などを行う森林組合等を支援する。	保険掛け金助成等	5,000			2,285		2,715
111	96	5	森林を育む間伐材利用促進事業	森林政策課	森林組合等		間伐材の搬出・利用を促進することにより、二酸化炭素の固定と地球温暖化	加工業者に販売する場合の仕分け経費を補助、間伐材搬出に対する補助、林業機械レンタルの助成	搬出30000m3、路網整備5000mなど	53,000					53,000
112	97	6	県産木材生産流通促進事業	森林政策課	県	—	県産木材の生産、流通体制の整備促進を図る。	県産木材の生産体制、流通拠点整備に必要な関係機関との調整調査、木材情報収集	県産材生産体制整備支援ならびに流通拠点整備支援	600			600		
113	98	7	びわ湖環境ビジネスメッセ	新産業振興課	滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会		環境産業の育成・振興を図ることにより、持続可能な社会の実現を目指すとともに、経済の発展に寄与する。	環境への負荷を軽減する製品や技術、サービス、ビジネスモデルを展示する環境産業総合見本市を開催する。		15,000			10,000		5,000
114	99	8	農村地域住民活動支援事業	農村振興課	滋賀県みずすましセンター（滋賀県土地改良事業団体連合会）	県	地域のリーダーを対象とした研修会を開催するなど、地域住民団体等の活動を支援することにより、環境保全活動の定着を図る。	地域のリーダーを対象とした研修会の実施や、地域活動への専門家の派遣に関する手続きなどを行う費用に対して補助する。	地元等活動団体への支援体制の整備 みずすましアドバイザー研修会の実施	500			500		

連番 (重複有)	連番 (重複無)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
115	100	9	特産マス類の養殖に関する調査・研究	水産試験場	県		本県特有のマス類の漁業と養殖業の振興を図る。	在来マス類資源の増殖技術およびビワマス養殖業へ普及できる養殖技術を開発する。	・特産マス類の漁業に関する調査・研究 ・特産マス類の養殖に関する研究	2,893	1,500		393		1,000
			小計				9	事業	小計	81,471					
地域（地域固有の環境、文化や歴史の再評価と、それらを保全する活動や取組の活発化を目指す取組）															
116	101	1	淡海ネットワークセンター支援事業	県民活動生活課	公益財団法人	県	淡海ネットワークセンターを通じた県民活動支援	地域づくりやまちづくり、福祉、環境、文化等の様々な分野における県民の自主的な社会的活動を総合的に支援することを目的とする（公財）淡海文化振興財団の運営に必要な支援を行う。	・情報提供事業 ・活動・組織基盤強化事業（未来ファンドおのみ、協働サロン、市民活動フォーラム、相談業務） ・人材育成事業（おのみ未来塾）	54,295			54,295		
117	—	2	【再掲】びわ湖まちかどむらかど環境塾事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	①県民のみなさんと一緒に、琵琶湖の現状や課題、さらには私たちの暮らしと琵琶湖の関わりについて考え、琵琶湖を守る行動へとともに高めあっているきっかけづくりの場にする。 ②県民のみなさんの琵琶湖への思いや既に取り組んでおられる先進的な事例などを汲み取り、県の施策に反映させていくこと。	より多くの県民に『マザーレイク21計画』とは何か、琵琶湖の総合保全とは何かについて知ってもらい、琵琶湖をもう一度見つめ直し、暮らしを琵琶湖に近づけるため、身近な生活の場に入り込み、環境保全のネットワークの輪を広げる『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を開催する。	『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を県内各地で実施。 10地区/年	360			360		
118	—	3	【新規・再掲】取り戻せ！つながり再生モデル構築事業	琵琶湖政策課	滋賀県		琵琶湖と川や内湖とのつながり再生に向けた取組のモデルを構築する。	・公募により、つながり再生への意欲のある地域を3地域選定する。 ・選定地域において、つながり再生にむけた取組の検討（身近な水環境の持つ価値の発見、具体的な手法の検討、再生計画の策定）を支援する。 ・つながり再生の取組を他地域に広げるため、計画策定までの検討プロセスをガイドブックとしてまとめる。	・モデルとなる3地域の選定。 ・選定地域において関係者が集まり、合意形成を図ることができる「場」づくり。 ・つながり再生に向けた取組の検討への支援。	1,700			1,700		
119	102	4	みんなの森づくり活動支援事業	森林政策課	市町、森づくり団体等		県民と協働による森林づくりを推進する。	県民が森林づくり活動に参加できるように機会や取り組みに支援する。	森づくり活動支援20団体他	13,115					13,115
120	103	5	ラムサールびわっこ大使事業（ラムサール条約の普及啓発）	自然環境保全課	県（公財）淡海環境保全財団	—	広い視野で人と自然を考え、琵琶湖を取りまく環境を守り伝えるために具体的に行動し、広げていくことができる人材を育成する。	県内小学生から「ラムサールびわっこ大使」を公募して、環境における国際会議等を経験させる。	・事前学習会（3回） ・国際湿地交流（1回）	2,872			2,872		
121	—	6	【再掲】村づくり交付金	農村振興課	高島市	高島市	自然と人間が織りなしてきた農村の水利資産や自然環境、くらしなどの地域資源を伝統・文化的視点から見直し、屋根のない博物館として伝統的農業施設及び美しい農村景観等の保全復元に配慮した各種の整備を行う。	農業生産基盤として、ほ場整備2.2ha、農業用水路2.1km、農道整備1.2km、獣害防止柵7.4km、農村生活環境として、自然生態系水路0.2km、里山管理道3.3kmを整備する。	排水路工L＝145m	9,800	4,870		2,495	2,435	
122	104	7	都市農村交流事業	農村振興課	滋賀県等		都市農村交流を活用し農村地域の振興を図る。	農村地域で取り組まれている活動の情報発信や豊かな地域資源を活用した都市農村交流の受入体制の整備や滋賀の魅力を上させ来訪・宿泊者の増大と農村地域の活性化を図るため、セミナーやおもてなしの向上に向けた研修会等を開催	(1)ウェブサイト保守運用業務 1式 (2)地域活性化ネットワーク交流会 1式 (3)しがG T N連絡会の運営 1式 (4)しがの農村魅力アップ支援事業 ・調査研究（地域交流力診断） 4地域 ・地域連携魅力向上セミナー 2箇所 ・農家民宿魅力アップ研修会 1箇所 (5)みんなのふるさとづくり応援事業 1式	2,980					2,980
123	—	8	【再掲】びわこ地球市民の森事業	都市計画課	滋賀県	国土交通省	自然的環境・景観保全	都市公園事業	都市公園整備	136,250	62,500	73,705	45	0	0
124	105	9	水害に強い地域づくり事業・水害に強い地域づくり協議会での検討	流域治水政策室	滋賀県	国土交通省	地域住民・市町・県・国・関係機関等が協働	水害に強い地域づくり計画の検討を行う。	業務検討委託一式	21,000	10,000		11,000		

連番 (重複あり)	連番 (重複あり)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町費基金	その他
125	106	10	見てわかる水害情報事業	流域治水政策室	滋賀県		により、水害に強い地域づくりを進める。	水害体験者から聞き取り調査を実施し、県のホームページ上で「水管の記録と記憶」として情報発信する。	水害情報収集、水害情報発信	4,960		1,071		3,889	
126	107	11	みずべみらい再生事業（ふるさとの川づくり協働事業）	河川・港湾室	滋賀県		地域住民との協働による河川の維持管理を推進する。	地域が行う河川の竹木伐採等の河川愛護活動に対して費用の助成を行うとともに、これらの活動を支援するための川へ降りる階段等を整備する。	河川愛護活動一式、河川愛護活動支援一式	181,600		157,500	24,100		
							小計	11 事業	小計	428,932					
つながりへの配慮（地域を越えた活動のための仕組みづくりと普段の生活の中での湖との関わりへの定着を目指す取組）															
127	108	1	エコロシ～が運用事業	環境政策課	滋賀県		県民や各種団体などが行う環境学習や活動がよりよいものとなっていくことを応援するため、各種情報、交流機会の提供を行う。	環境学習情報システム「エコロシー」の保守管理を行う。	環境学習の企画やプログラム作りの際に役立つ学習プログラムの事例、指導者、環境学習ができる施設、ビデオや図書教材、環境関連データ、リンク集などの情報を県内中心に収集し、一元的に県民等に提供する。	766		766			
128	109	2	【新規】「びわ湖の日」活動推進事業	環境政策課	滋賀県		「びわ湖の日」の意義や琵琶湖の大切さなどを県民等に広く周知する。	「びわ湖の日」啓発資料を制作し、企業等様々な主体とともに「びわ湖の日」の啓発を行う。	・啓発資料の制作（のぼり旗500本、ポスター等1,000枚） ・啓発資料を活用したPR	570		570			
129	—	3	【再掲】琵琶湖流域における水・生物・暮らしの「つながり」の再生に関する研究（琵琶湖政策課計上分除く）	琵琶湖環境科学センター	琵琶湖環境科学センター		琵琶湖流域における水・生物・暮らしの「つながり」に着目し、水・物質循環、生物の生息状況など多様な側面と関連性から流域の現状を明らかにするとともに、水環境保全の方向性やあり方を提示する。	琵琶湖とその流域を対象とした水質等のシミュレーションモデルを構築し、各種対策効果の検証を行う。また、水系のつながりと水や物質循環などの関連性に着目し、流域の現状を明らかにするほか、市民やNPO等と協働で琵琶湖の総合保全を進める。	・シミュレーションモデルの精度向上と過去再現 ・堰堤分布等の河川環境GIS解析、水質、底質、底生生物調査、魚類調査 ・県域や流域レベルの市民参画実践	6,826			6,826		
130	110	4	びわこルールキッズ事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	県内や下流府県の小中学生に外来魚の釣り上げを呼びかけ、リリース禁止の輪を広げる。	全国の小中学生を対象に、夏休み期間中に外来魚のノーリリースに協力してもらえる『びわこルールキッズ』を募集し、登録を兼ねて釣り大会を開催。また、成果報告のあったキッズの中から匹数により表彰。	引き続き、県内の下流府県の小中学生を対象としたびわこルールキッズ事業を実施し、外来魚のリリース禁止の普及啓発を行う。	358		58	300		
131	111	5	マザーレイクフォーラム推進事業	琵琶湖政策課	マザーレイクフォーラムびわこ委員会運営委員会・滋賀県	—	・マザーレイク21計画第2期計画の進行管理および評価・提言を行う。 ・多様な主体が思いと課題を共有し、団体・地域・分野を超えたつながりを育む。	・琵琶湖流域に関わる多様な主体が、お互いの立場や経験、意見の違いを尊重しつつ思いや課題を共有し、琵琶湖のために話し合うとともに、マザーレイク21計画の進行管理の一部を担い、評価・提言を行うびわこ会議を開催する。 ・環境保全に関わる多様な主体が集い、交流し、情報の共有を図ることで分野を超えたつながりが生まれ、新たな活動へと展開していくプラットフォームとして、ウェブサイトの運営、管理を行う。	・マザーレイクフォーラムびわこ会議の開催（1回） ・ウェブサイト「マザーレイクフォーラム」の運営、管理	1,500		1,500			
132	—	6	【再掲】びわ湖まちかどむらかど環境塾事業	琵琶湖政策課	滋賀県	—	①県民のみなさんと一緒になって、琵琶湖の現状や課題、さらには私たちの暮らしと琵琶湖の関わりについて考え、琵琶湖を守る行動へとともに高めあっていくきっかけづくりの場にする。 ②県民のみなさんの琵琶湖への思いや既に取り組んでおられる先進的な事例などを汲み取り、県の施策に反映させていくこと。	より多くの県民に『マザーレイク21計画』とは何か、琵琶湖の総合保全とは何かについて知ってもらい、琵琶湖をもう一度見つめ直し、暮らしを琵琶湖に近づけるため、身近な生活の場に入り込み、環境保全のネットワークの輪を広げる『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を開催する。	『びわ湖まちかどむらかど環境塾』を県内各地で実施。 10地区/年	360		360			
133	112	7	緑化普及啓発事業	森林政策課	県		緑化活動の普及啓発	緑化功労者表彰、全国植樹祭等への参加、緑化普及啓発	同左	500		500			
134	113	8	協働の森づくり啓発事業	森林政策課	県、市町		森林を県民みんなで守り育てる意識の高揚と森づくりへの参加拡大等を図る。	広報紙の発行、交流会の開催、地域普及啓発活動の実施など	県政広報誌、森づくり交流会1回、森づくり県民講座など	16,250				16,250	

連番 (重複あり)	連番 (重複なし)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町基金	その他
135	114	9	森林環境学習「やまのこ」事業	森林政策課	市町他		次代を担う子どもたちが森林への理解と関心を深める。	県内の小学校4年生を対象に、森林環境学習を実施する。	243校参加予定	107,859					107,859
136	115	10	たんぼのこ体験事業	食のブランド推進課	市町		小学校の子どもたちが、生命や食べ物の大切さを学ぶ機会の提供。	小学生が、自ら田んぼや畑に入り、「育て」、「収穫し」、そして調理して「食べる」という一貫した農業体験学習の実施。	目標：全小学校での実施	0					
137	116	11	南湖再生ワタカ放流事業(学習会)	水産課	県		南湖の現状、ワタカなど魚介類の生態系について学習してもらう。	・南湖の水草異常繁茂の実態を知ってもらうとともに魚の学習会を開催。 ・琵琶湖環境や魚介類、漁業の学習、ワタカの放流	・夏休み親子・水草と魚の学習会(8月) ・ワタカ種苗の放流と環境学習会(3月)	400					400
138	117	12	琵琶湖環状線小学生体験学習プログラム支援事業	交通政策課	琵琶湖環状線利用促進協議会		琵琶湖環状線の利用促進・利用啓発	環状線を利用した小学校の校外学習に対して鉄道運賃分を補助する。	生徒 6,000人	3,000			3,000		
139	118	13	琵琶湖一周ウォーキング推進事業	交通政策課	滋賀県ウォーキング協会		公共交通機関を利用した琵琶湖を一周するウォーキングを定着させること	県内のJR駅を起終点とした分割コースで琵琶湖を歩いて一周するウォーキング大会を開催	琵琶湖一周を11回に分けて、毎月開催。1回当りの募集人員50名	0					
140	119	14	新交通システム推進事業	交通政策課	県		湖上交通利用促進・利用啓発	琵琶湖・湖上交通に関する情報発信や、駅から港までの交通アクセス情報整備	情報リーフレットの作成 交通案内表示板の設置等	500			500		
141	120	15	自転車歩行者道の整備	道路課	滋賀県		歩行空間の充実を図る。	自転車歩行者道等の設置	測量設計および工事(4路線、1,050m)	25,970	18,698	2,078	5,194		
142	121	16	(仮称)流域自治会議運営事業	広域河川政策室	滋賀県		琵琶湖淀川流域における流域自治の推進	(仮称)琵琶湖淀川水系流域自治会議の運営	会議開催・連絡調整	600			600		
143	—	17	【再掲】みずべみらい再生事業(ふるさとの川づくり協働事業)	河川・港湾室	滋賀県		地域住民との協働による河川の維持管理を推進する。	地域が行う河川の竹木伐採等の河川愛護活動に対して費用の助成を行うとともに、これらの活動を支援するための川へ降りる階段等を整備する。	河川愛護活動一式、河川愛護活動支援一式	181,600	157,500	24,100			
144	122	18	調査・資料収集事業	琵琶湖博物館	滋賀県		琵琶湖博物館の中長期基本計画に基づき、幅広いテーマで研究・調査に取り組むとともに、その成果の発信、博物館資料としての活用、水族資料の管理等を行う。	琵琶湖の生成や琵琶湖と人々の関わりに関する研究に取り組むとともに、琵琶湖地域の自然、歴史、暮らしの研究・調査を総合的に推進する。	・各種研究への取り組み(全45テーマ) ・水族、その他学術的価値の高い資料の収集、管理	112,259			58,583		53,676
145	123	19	展示事業	琵琶湖博物館	滋賀県		研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料とし、人と自然の関わり等について展示を行う。	・企画展示の開催 ・常設展示の開催 ・新琵琶湖博物館の創造	・企画展示「いきものがたり」の開催 ・新琵琶湖博物館創造基本計画の策定	94,124			18,760		75,364
146	124	20	情報交流事業	琵琶湖博物館	滋賀県		図書室の運営、観覧会や体験教室の開催など、情報交流事業を行う。	博物館機能を活用し、県民、企業、団体等と協働して、みんなで琵琶湖のこを感じ考える交流機会を提供し、住民各層と琵琶湖との各種交流イベントなどを実施する。	(仮称)あさ・ひる・ばん博物館を楽しもう!の開催	34,644			32,696		1,948
147	125	21	環境学習支援事業費(環境政策課計上分除く)	琵琶湖博物館	滋賀県		県民や各種団体などが行う環境学習や活動がよりよいものとなっていくことを応援するため、各種情報、交流機会の提供、環境学習関連の各主体の連携等に取り組む琵琶湖博物館環境学習センターの運営を行う。	・環境学習情報システム「エコロジー」の保守管理を行う。 ・環境学習関連の図書、DVD等の整備を行う。	環境学習の企画やプログラム作りの際に役立つ学習プログラムの事例、指導者、環境学習ができる施設、ビデオや図書教材、環境関連データ、リンク集などの情報を県内中心に収集し、一元的に県民等に提供する。	1,110			1,110		
148	126	22	アユの冷水病対策研究	水産試験場	県	近畿農政局	冷水病の予防、治療および冷水病菌の完全除去技術の確立	左記目的を達するため試験研究を行う。	・冷水病抗病性付とおよび除菌技術普及研究 ・急性スレ症対策研究 ・冷水病後遺症対策研究 ・ワクチンの実用化研究	2,643	750		750		1,143

連番 (重複含)	連番 (重複除)	番号	事業名	担当課	事業主体	補助主体	事業目的	事業概要	H25年度事業量、内容等	H25年度 当初予算	財源内訳				
											国費	起債	一般財源	市町費繰金	その他
149	127	23	水産試験場一般公開	水産試験場	県		試験研究内容の説明や琵琶湖の魚貝類の展示、湖魚の試食などを通じた琵琶湖の水産業に対する啓発	水産試験場の業務および施設の紹介と琵琶湖の水産業への啓発を行う。	・研究発表と研究パネル展示 ・滋賀県の魚介類展示 ・魚つかみ体験 ・湖魚の試食	58			58		
150	128	24	魚を学ぶ体験学習促進事業	水産試験場	県					0					
151	129	25	【新規】しが環境教育リーディング事業	学校教育課	学校教育課	—	持続可能な社会づくりに向けて行動できる人づくりを目指す。	持続可能な社会の実現に向けて人と環境とのよりよい関係を築く環境教育のあり方についての研究実践を進める。	研究指定を受けた小学校・中学校・高等学校が、人と自然環境、エネルギー、社会生活、生命とのよりよい関係を築くため、児童生徒が探究的に取り組む環境学習プログラムを作成し、その成果を検証する。	2,600			2,600		
152	130	26	淡海生涯カレッジ開設事業	生涯学習課	県 各市実行委員会	なし	・様々な学習機関の連携により、広域的、専門的かつ体系的な学習の機会を提供する。	・地域の学習機関が連携し、公民館等での日常的な学習、高等学校での体験的な学習、大学での専門的な学習を組み合わせ、地域を一つのキャンパスとした学習機会を提供する。	・環境・健康・バイオテクノロジーなどをテーマとし、大津校・草津校・湖南校・彦根校・長浜校で実施。(5校5コース) ・各校15～18講座。	974			974		
153	131	27	「地域の力を学校へ」推進事業	生涯学習課	滋賀県	なし	「しが学校支援センター」を設置し、豊富な知識や経験を持つ地域の人々や企業・団体・NPO等(支援者)が、学校を支援する仕組みづくりを推進する。	学校と支援者との連絡調整、相談・助言、企画・運営といったコーディネートを行い、琵琶湖の環境保全及び再生に関する連携授業を実施する。	・学校支援メニューフェアの開催(1回) ・連携授業の実施 60校	3,413			3,413		
154	132	28	におねっとの運用	生涯学習課	滋賀県	なし	県民の生涯学習を促進	団体、NPO、学校、大学、企業、社会教育施設、	講座情報数目標値：1,800件	5,616			5,366		250
155	133	29	びわ湖フローティングスクール	びわ湖フローティングスクール	滋賀県	—	学校教育の一環として、県内小学5年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った宿泊体験型の教育を展開し、環境に主体的に関わる人や人と豊にかかわる力をはぐくむ。	学習船「うみのこ」による1泊2日の児童学習航海の間に水調べや展望活動などの「びわ湖環境学習」、タウンウォークラリーやカッター活動などの「ふれあい体験学習」、「湖の子」船内生活の3つの領域の体験学習を実施する。	1 児童学習航海(1泊2日) 94航海 (4月24日～2月20日) 乗船 児童数 250校 約15,000人 (うち琵琶湖・淀川流域交流校 6校) 2「湖の子」体験航海等(1日)7航海	236,438		235,060		1,378	
							小計	29 事業	小計	840,938					
							『暮らしと湖の関わり再生』小計	57 事業	『暮らしと湖の関わり再生』小計	1,532,857					
							合計(重複含む)	155 事業	合計(重複含む)	40,692,669					
							合計(重複除く)	133 事業	合計(重複除く)	30,268,501					

*1 公共下水道事業(市町事業)については、下水道課で分かる範囲で記載。(国費要望の数値)

*2 県特別会計ベース